中心市街地活性化基本計画
令和７年度定期フォローアップ報告

令和８年１０月

内閣府地方創生推進事務局

目　次

Ⅰ．中心市街地活性化基本計画 令和７年度定期フォローアップの概要 …… １ページ

Ⅱ．目標指標分野別分析結果の概要 …… ２ページ

(1) 分野別の見通し状況

(2) 事業の進捗状況

(3) 目標達成見通しの状況

(4) 基準値からの改善状況

Ⅲ．事業の進捗状況及び目標達成見通しに関する各自治体からの報告 …… ８ページ

本報告書における評価基準および指標

＜事業の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）

＜分野（目標指標分野）＞

①	にぎわいの創出
②	街なか居住の促進
③	経済活力の向上
④	公共交通の利便の増進
⑤	その他

○　基準値とは基本計画策定時の設定数値のことをいう。

○　目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しないかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

定期フォローアップについて

○ 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画（以下「認定基本計画」という。）では、中心市街地の活性化に関する目標を掲げるとともに、当該目標の達成状況を的確に把握できるよう、市町村の実情に即した定量的な指標（以下「目標指標」という。）を設定している。

○ 基本計画の認定を受けた市町村（以下「認定市町村」という。）は、原則毎年、定期フォローアップを実施し、その結果を公表する。内閣総理大臣は、その報告を受けて内容を公表するとともに、必要に応じて積極的な助言を行い、その成果を基本計画の認定及び中心市街地活性化施策の推進に活用する。

対象となる市町村、計画及び目標指標

40 市町 41 計画 147 指標 （詳細はＰ．８～11 に掲載）

※40 市町に対して 41 計画となっているのは、静岡市に静岡地区と清水地区の２計画が存在するため。

【参考：令和６年度】37 市町 38 計画 134 指標

事業進捗状況と目標達成の見通しに関する集計結果

○ 全 147 指標のうち、目標達成可能が見込まれる指標は、107 指標（A＋a）（73%）である。

＜事業進捗状況と目標達成の見通し＞

	関連する事業等の進捗状況が順調である	関連する事業等の進捗状況が順調でない	合計
目標達成が見込まれる	A 103指標（70%）〔98指標（73%）〕	a 4指標（3%）〔4指標（6%）〕	107指標（73%）〔102指標（76%）〕
目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる	B 24指標（16%）〔15指標（11%）〕	b 3指標（2%）〔1指標（1%）〕	27指標（18%）〔16指標（12%）〕
目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない	C 12指標（8%）〔11指標（8%）〕	c 1指標（1%）〔5指標（4%）〕	13指標（9%）〔16指標（12%）〕
合 計	139指標（95%）〔124指標（93%）〕	8指標（5%）〔10指標（7%）〕	147指標（100%）〔134指標（100%）〕

※表中の〔 〕は令和6年度の状況
※小数点以下四捨五入して表示
※各項目において四捨五入しているため合計とは一致しない場合がある

Ⅱ. 目標指標分野別分析結果の概要

令和７年度における認定市町村が定期フォローアップを行った目標指標を５分野に分類し、（１）分野別の見通し状況、（２）各分野の事業の進捗状況、（３）目標達成の見通し、（４）基準値からの改善状況について分析した。

（1）分野別の見通し状況

目標指標の分野別集計結果

○ 認定市町村が実施したフォローアップの結果を基に、目標指標に関連する事業の進捗状況について、「賑わいの創出」、「街なか居住の推進」、「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」及び「その他」の５分野に区分して集計した結果を以下に示す。

＜目標指標分野別集計＞

見通し	全体（割合）	① にぎわいの 創出	② 街なか居住の 推進	③ 経済活力の 向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
A	103 (70%)	49	23	24	3	4
a	4 (3%)	2	2	0	0	0
B	24 (16%)	13	4	5	0	2
b	3 (2%)	3	0	0	0	0
C	12 (8%)	5	5	2	0	0
c	1 (1%)	0	1	0	0	0
合計	147	72	35	31	3	6

＜目標指標分野と主な目標指標・事業例＞

目標指標分野	主な目標指標	主な事業例
①にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、 公共公益施設利用者数、宿泊客数　等	市民・文化施設整備、イベント開催、回遊促進事業、 複合施設・公園・駐車場整備　等
②街なか居住の推進	居住人口、居住人口の社会増加数、市 全体に占める中心市街地の居住人口の割合　等	居住環境整備（土地区画整理、集合住宅整備等）、 移住相談・移住費助成、子育て支援・高齢者福祉施設整備等
③経済活力の向上	新規出店数、空き店舗数、創業・起業数、 商店街の営業店舗数　等	新規出店・起業支援（家賃助成、改修費助成等）、 創業セミナー開催、空き店舗マッチング支援、 チャレンジショップ支援、コワーキングスペース運営支援等
④公共交通の利便の増進	公共交通機関利用者数、自動車分担率	駅前大通りの再整備、公共交通機関100円利用ICカード発行事業、シェアサイクル事業、パーク・アンド・ライド事業　等
⑤その他	上記①～④以外の目標指標として、令和７年度は「中心市街地エリアに魅力を感じる市民の割合」、 「中心市街地の健康な高齢者の割合」等が定期フォローアップの対象となっている。	

（2）事業の進捗状況

事業の進捗状況に関する分析結果

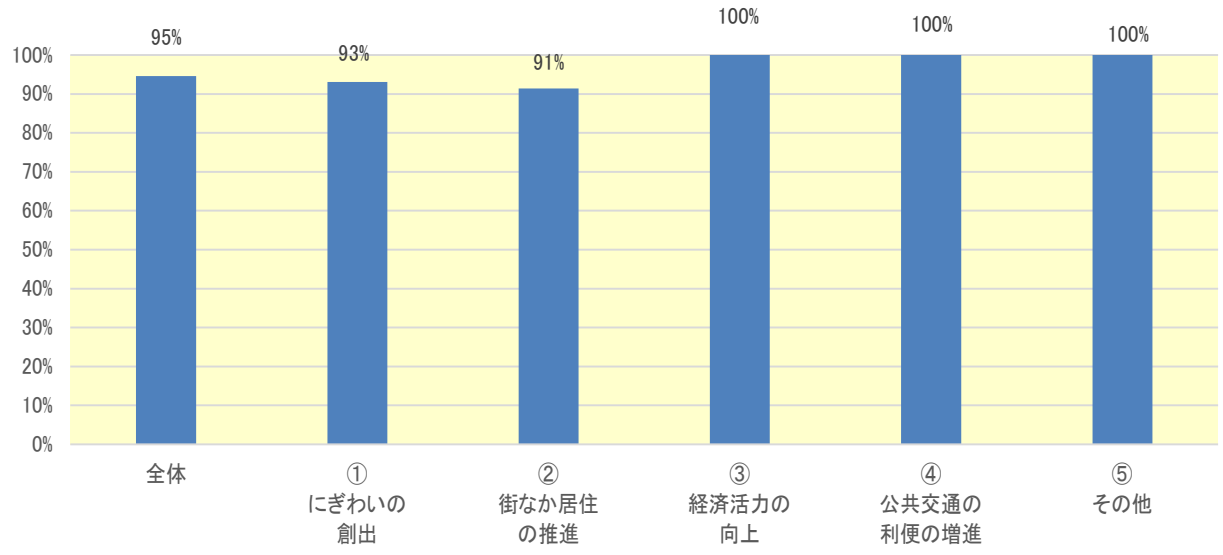
○ 事業の進捗状況については、進捗状況が順調である割合が全体の 95%である。
（令和６年度 93%）

○ 分野別に見ると、「にぎわいの創出」及び「街なか居住の推進」に関係する目標指標については、進捗が順調である事業の割合は全体の割合を下回るものの、いずれも９割を超えている。

＜事業の進捗が順調である目標指標の割合＞

見通し	全体	① にぎわいの 創出	② 街なか居住 の推進	③ 経済活力の 向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
事業の進捗が順調である(1) (A+B+C)	139	67	32	31	3	6
事業の進捗が順調でない(2) (a+b+c)	8	5	3	0	0	0
合計(3) ((3)=(1)+(2))	147	72	35	31	3	6
事業が順調な割合 ((1)/(3))	95%	93%	91%	100%	100%	100%

＜目標指標分野別事業の進捗が順調な割合比較＞



（3）目標達成見通しの状況

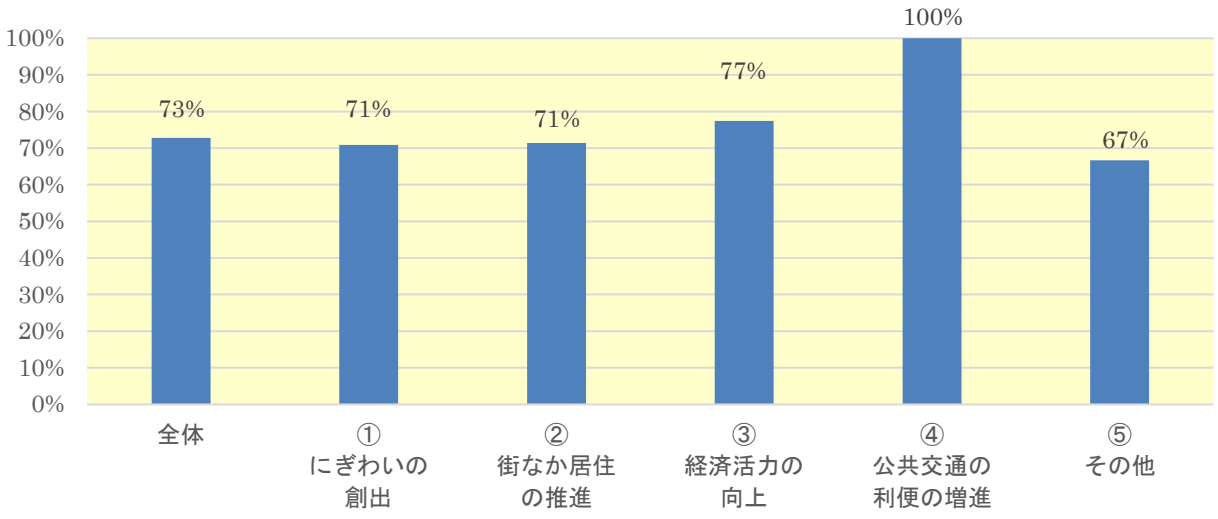
目標達成見通しの状況に関する分析結果

- ○ 目標達成の見直しについては、目標達成が見込まれる指標の割合（目標達成見込率）が全体の 73%である。（令和６年度 76%）
- ○ 分野別に見ると「経済活力の向上」及び「公共交通の利便の増進」に関係する目標指標では、目標達成見込率が全体の割合を上回っている。
- ○ 一方、「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」及び「その他」に関係する目標指標では、目標達成見込率が全体の割合を下回っている。

＜目標達成が見込まれる目標指標の割合＞

見通し	全体	① にぎわいの 創出	② 街なか居住 の推進	③ 経済活力の 向上	④ 公共交通の 利便の増進	⑤ その他
目標達成が 見込まれる(1) (A+a)	107	51	25	24	3	4
目標達成が 見込まれない(2) (B+b+C+c)	40	21	10	7	0	2
合計(3) ((3)=(1)+(2))	147	72	35	31	3	6
目標達成見込率 (1)/(3)	73%	71%	71%	77%	100%	67%

＜目標達成が見込まれる目標指標の割合＞



目標達成見通しを変更した主な理由

○　目標達成の見通しについて、令和７年度のフォローアップにおいて、令和６年度の報告時から評価が変更された目標指標は 17 指標あった。

（１）目標達成に関する見通しが改善したケース（分類Ｂ、ｂ、Ｃ、ｃからＡ、ａへ変更したもの）

- 目標達成の見通しが改善した指標は１指標。
- 目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が１指標。
- 目標達成の見通しが改善した理由は以下のとおり。

  ・予定していた関連事業の進捗は十分でなかったものの、来訪者数の増加傾向や環境整備が進展していることを踏まえ、見通しをＣからＢへ見直している。

（２）目標達成の見通しが悪化したケース（分類Ａ、ａからＢ、ｂ、Ｃ、ｃへ変更したもの）

- 目標達成の見通しが悪化した指標は 16 指標。
- 目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が 11 指標、「街なか居住の推進」が１指標、「経済活力の向上」が２指標、「その他」が２指標。
- 目標達成の見通しが悪化した主な理由は以下のとおり。

  ・「にぎわいの創出」の分野では、計画策定時に予期できなかった公共施設の閉館や、大型商業施設の閉店が生じたことに加え、実績値の伸びが想定を下回っていることが挙げられる。

  ・「街なか居住の推進」の分野では、中心市街地で見込まれている公営住宅建設事業の進捗の遅れが挙げられる。

  ・「経済活力の向上」の分野では、空き店舗の条件と出店者のニーズが一致せず出店に至らなかったことが挙げられる。

  ・「その他」の分野では、公共施設の来場者数の増加や中心市街地エリアへの企業立地等は進んでいるものの、実績値の伸びが想定を下回っていることが挙げられる。

（4）基準値からの改善状況

基準値からの改善状況に関する分析結果

○ 基準値からの改善状況については、現況値が基本計画策定時の基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）は全体の **62%**である。（令和６年度 64%）

○ 既に目標値を達成している目標指標の割合（目標達成率）は全体の **29%**である。（令和６年度 33%）

○ 分野別に見ると、「経済活力の向上」を除く分野では、基準値改善率が全体の割合を上回っている（注１）。

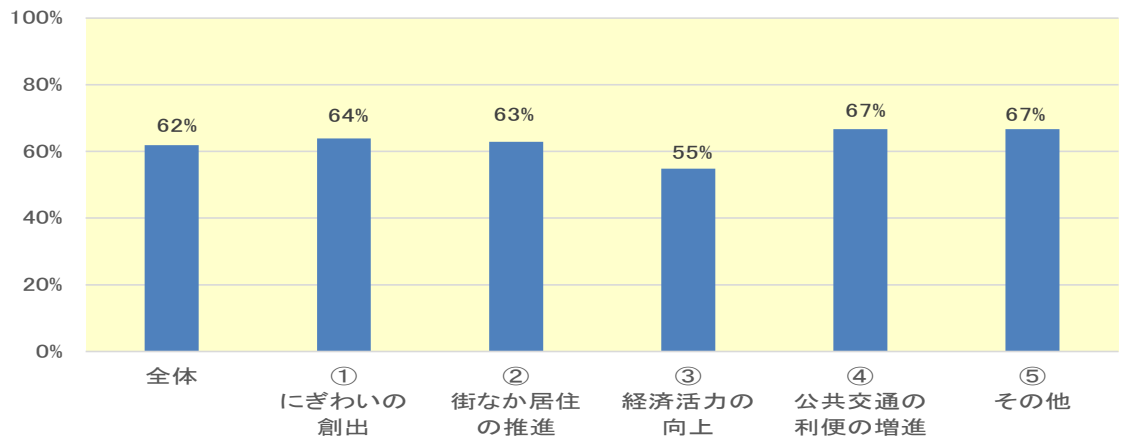
○ 目標達成率については「経済活力の向上」、「公共交通の利便の増進」及び「その他」で全体の割合を上回る一方、「にぎわいの創出」及び「街なか居住の推進」では下回っている。

（注１）

＜目標指標分野別の改善状況及び目標達成状況＞

基準値	全体	① にぎわいの創出	② 街なか居住の推進	③ 経済活力の向上	④ 公共交通の利便の増進	⑤ その他
基準値より改善(1)(注2) （A＋a＋B＋b）	91	46	22	17	2	4
（うち、目標達成）(2) （A＋a）	43	19	8	12	2	2
基準値より悪化(3)(注2) （C＋c）	56	26	13	14	1	2
合計(4) ((4)=(1)+(3))	147	72	35	31	3	6
基準値改善率 ((1)/(4))	62%	64%	63%	55%	67%	67%
目標達成率 ((2)/(4))	29%	26%	23%	39%	67%	33%

＜目標指標分野別基準値改善率の比較＞



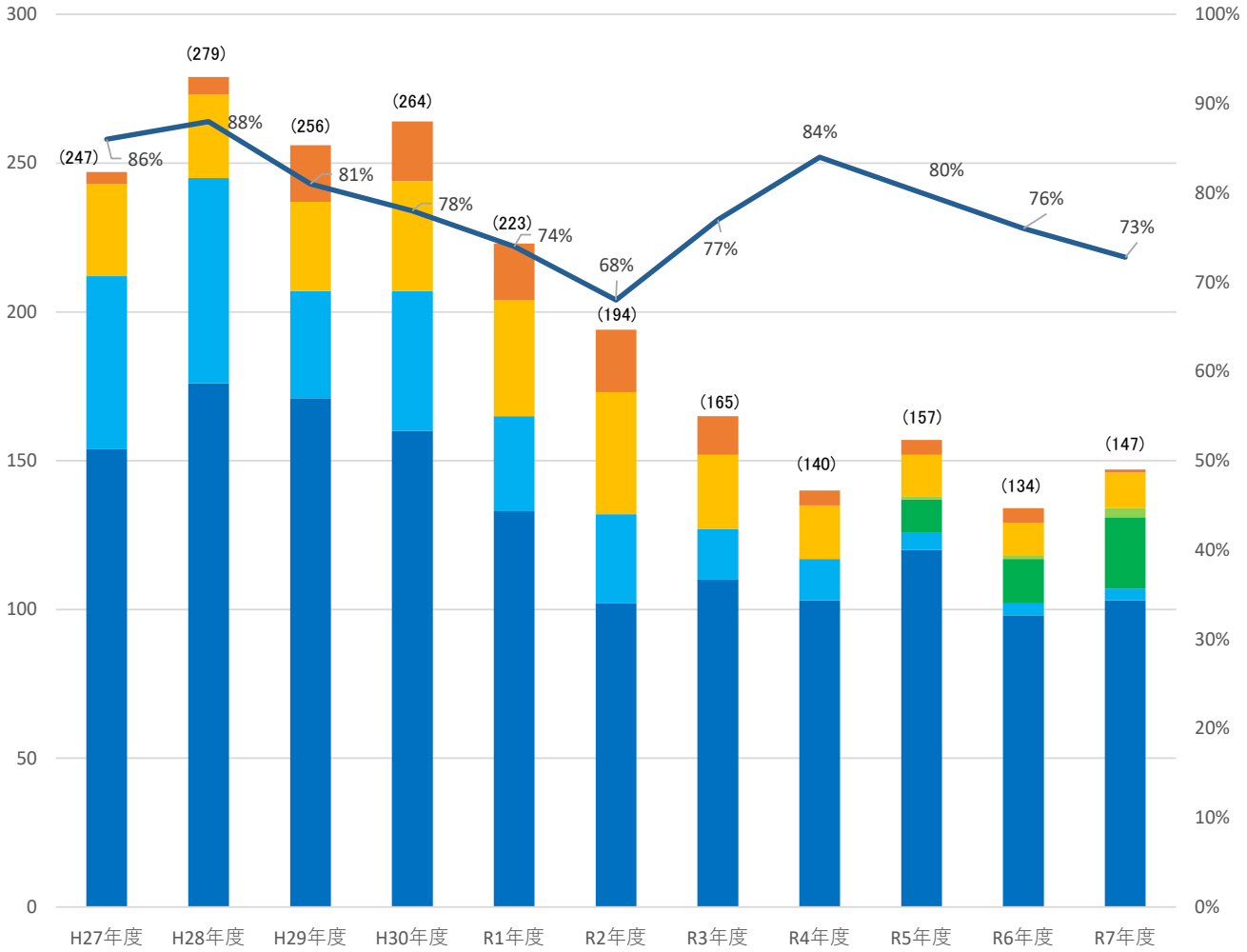
（注１）全目標指標における、基準値改善率は 64%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

（注２）目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

進捗状況と目標達成見通しの比較

○　令和７年度末時点で、累計 153 市４町 307 計画の中心市街地活性化基本計画が認定を受け、計画期間中、原則毎年事業の進捗状況及び目標達成の見通し等を自己評価している。定期フォローアップ報告書における、過去年度実績との比較は以下のとおり。

＜進捗状況と目標達成見通しの比較＞



〈目標達成見通しの分類別指標数〉 括弧内は指標数

- c 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
- C 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
- b 目標達成が見込まれないが基準値は上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
- B 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
- a 目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
- A 目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
- 目標達成見込率（A+a）

※見通しの分類変更により、令和4年度以前の評価が「②目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗が順調、目標達成が見込まれない（関連する事業等の進捗が順調でない）」は「C、C」と表示

Ⅲ. 事業の進捗状況及び目標達成見通しに関する各自治体からの報告

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	基準値	目標値	最新値	単位	実績	目標達成の見通し
令和3年3月30日認定 【計画期間:令和3年4月～令和9年3月】										
福島県	福島市	広域的な交流の活性化と賑わいと活力ある商業地の再生	休日の歩行者・自転車通行量	①	13,690	16,400	18,899	人／日	a	a
			居住人口の社会増減数	②	△ 12	44	37	人／年	b	a
			まちづくり活動に参画する学生数	①	0	350	619	人	A	A
			計画掲載事業を活用した出店数	③	0	18	136	店	A	A
令和3年6月29日認定 【計画期間:令和3年7月～令和9年3月】										
山口県	山口市	求心力のある商業・業務エリアの形成	中心商店街営業店舗数	③	275	281	279	店	B	A
		交流と創造による来街機会の創出	商店街等通行量（通常時の平日・休日平均）	①	34,700	36,800	27,247	人／日	C	C
		誰もが安心して過ごすことができるまちへの再生	中心市街地における建物更新件数	⑤	3	12	10	件	B	A
令和4年3月24日認定 【計画期間:令和4年4月～令和9年3月】										
徳島県	徳島市	来街者数の増加	ランドマーク施設来館者数	①	2,441	3,741	3,489	千人	B	A
		回遊者数の増加	まちなか歩行者通行量(平日・休日平均)	①	15,697	20,807	13,607	人	C	B
		居住者数の増加	まちなか居住者数	②	7,546	7,567	6,849	人	C	C
滋賀県	東近江市	豊かな暮らしを実感できるまち	中心市街地の居住人口	②	7,525	7,650	7,791	人	A	A
		歩いて楽しい日常的なにぎわいのあるまち	日中時間帯の歩行者・自転車通行量	①	9,603	10,550	9,832	人	B	B
		多様な店舗やオフィスが集積する商業のまち	八日市駅周辺及び商店街の営業店舗・事業所数	③	247	250	256	店舗・事業所	A	A
静岡県	静岡市（静岡）	訪れたくなる商都	主要な商店街の空き店舗率	③	6	3	6	%	C	B
		にぎわいのある商都	観光客数	①	524	1,374	774	千人／年	B	b
		住み続けたくなる商都	中心市街地人口	②	15,797	16,499	15,879	人	B	B
		訪れたくなる商都・にぎわいのある商都・住み続けたくなる商都	歩行者通行量	①	4,218	6,812	5,858	人／日	B	B
静岡県	静岡市（清水）	訪れたくなる港町	新規事業者数(累計)	③	14	38	47	件	A	A
		にぎわいのある港町	観光客数	①	290	685	640	万人／年	B	A
		住み続けたくなる港町	中心市街地人口	②	5,808	5,496	5,321	人	C	C
		訪れたくなる港町・にぎわいのある港町・住み続けたくなる港町	歩行者通行量	①	933	1,312	1,506	人	A	A
兵庫県	伊丹市	歴史・文化・芸術を身近に感じる、何度も訪れたい郷町（まち）	文化施設等(5施設)利用者数	①	875,344	926,600	803,335	人	C	C
			中心市街地4 エリアにおける1 日あたりの流動人口（4 エリア合計）	①	168,064	167,814	135,773	人	C	C
		点から面へのつながりが、新たな価値を創造する郷町（まち）	中心市街地における1 階空き店舗数	③	65	54	64	店舗	B	A
		あらゆる人に、安全・安心・快適を提供する郷町（まち）	中心市街地における居住人口（社会増減数）	②	18	104	21	人／年	B	B
富山県	富山市	来街者が回遊する魅力的な都市空間の創出	市内電車一日平均乗車人数	④	20,429	21,500	21,891	人／日	A	A
		商業・賑わいの再生による活力ある歩きたくなるまち	中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量（日曜日）	①	51,577	53,000	80,375	人	A	A
		多世代が集い、良質な暮らしを享受できるまち	中心市街地の居住人口の社会増	②	113	113	161	人増／年	A	A
			中心市街地の健康な高齢者の割合（前期高齢者）	⑤	96	96	96	%	B	A
			中心市街地の健康な高齢者の割合（後期高齢者）	⑤	64	64	66	%	B	A
富山県	高岡市	交流人口の拡大	主要観光施設における観光入込客数	①	351,000	375,500	319,422	人	C	B
			中心商店街・観光地周辺（6地点）における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	①	14,425	15,000	18,409	人	A	A
		まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実	中心市街地における居住人口の社会増減数	②	△ 50	0	2	人減	A	A
			中心市街地・観光地周辺における新規開業件数	③	57	60	69	件	A	A
石川県	金沢市	まちなかの定住者を増やす	中心市街地の45 歳未満人口の年間社会動態	②	△ 15	60	13	人／年	B	A
		ウォーカブルなまちなかを形成する	主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量	①	30,836	43,289	25,281	人	C	A
		公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	まちなかにおける自動車分担率	④	45	42	48	%	C	A
		歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14 施設)と金沢未来のまち創造館の利用者数	①	171,206	357,000	303,114	人	B	A

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	基準値	目標値	最新値	単位	実績	目標達成の見通し
令和5年3月17日認定 【計画期間:令和5年4月～令和10年3月】										
埼玉県	志木市	活発な商業活動が行われる環境の形成	建築確認申請件数(「商業系併用住宅」及び「事務所店	③	90	90	9	件/年	C	C
		公共空間を利活用しやすい環境づくり	公共空間における 年間 イベント等実施団体数	①	4	6	13	団体/年	A	A
		出歩きたくなる環境づくり	自転車・歩行者通行量(平日・休日の平均)	①	37,835	41,977	39,846	人/年	B	B
茨城県	水戸市	にぎわい向上	芸術文化及び歴史的拠点等における交流人口	①	139,028	850,000	1,473,373	人/年	A	A
			歩行者通行量	①	89,489	112,000	123,595	人	A	A
		居住の促進	居住人口	②	7,029	8,100	7,147	人	B	A
		事業所等の立地促進	新規開業数	③	46	65	55	事業所	B	A
東京都	八王子市	文化・歴史をはじめとする様々なまちの魅力を感じ、回遊できるまちなみ空間の創出	歩行者通行量	①	117,769	130,500	118,742	人/日	B	A
		市民や来街者を惹きつける、個性あふれる商業空間の創出	空き店舗数	③	86	65	62	店舗	A	A
		地域での交流を通じて共に安心して過ごせる交流空間の形成	地域交流活動施設来場者数	②	34,601	66,000	87,165	人/年	A	A
広島県	三原市	賑わいの創出	歩行者・自転車通行量(平日)	①	21,575	24,286	21,097	人/日	C	b
			歩行者・自転車通行量(休日)	①	17,871	20,540	18,853	人/日	B	b
		商業の活性化	商店街の空き店舗数	③	73	63	58	件	A	A
高知県	高知市	暮らすにも働くにも「ぼっちり」なまち	中心市街地の居住人口	②	5,529	5,776	5,773	人	B	A
		おまちのさらなる魅力向上と賑わいの回復	中心市街地の歩行者通行量	①	104,188	128,004	122,452	人	B	A
岐阜県	岐阜市	滞在時間の向上	金公園地下駐車場の年間総利用時間	①	268,628	318,000	308,925	時間/年	B	A
		来街者数の増加	歩行者・自転車通行量[休日と平日の平均](中心市街地の21 地点)	①	38,600	45,700	37,161	人/日	C	B
		まちなか暮らしを選択する人の増加	居住人口の人口動態	②	△ 183	400	741	人	A	A
静岡県	藤枝市	多様な都市機能の集積による、街なかの魅力向上	居住人口[社会増]	②	111	119	△ 44	人/年	C	a
		各拠点の有機的な連携による、持続可能なビジネス環境の構築	昼間の歩行者通行量	①	7,676	8,022	8,348	人/日	A	a
		良好な景観形成と伴走型支援による、エリアの求心力向上	空き店舗数	③	55	47	41	件	A	A
		既存ストックの活用による、多世代が集う賑わいの再生	イベント来場者数	①	54,371	54,600	59,769	人/年	A	A
愛知県	豊田市	まちなかの定住者を増やす	居住人口の社会増減数	②	△ 49	108	232	人/年	A	A
		日常生活を支える商業の再生	歩行者通行量(休日)	①	16,186	19,380	25,729	人/日	A	A
		まちなかでの創業の推進	創業者数	③	3	12	7	件/年	B	B
鳥取県	鳥取市	若年層のまちなか暮らしの促進	中心市街地の45歳未満居住人口(社会増減数)	②	69	75	△ 12	人/年	C	C
		回遊・滞在による経済活力の向上	7商店街の事業所数	③	430	425	402	事業所	C	C
			歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均値)	①	19,909	21,300	19,315	人/日	C	A
		文化観光・交流施設年間利用者数(4施設)	文化観光・交流施設年間利用者数(4 施設)	①	202,131	237,785	187,112	人/日	C	B
熊本県	熊本市	時代の変化を見据えた魅力あるまちづくり	桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合	⑤	51	52	59	%	B	B
			熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合	⑤	46	47	45	%	B	B
		にぎわいの創出と回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量	①	579,066	788,000	657,228	人	B	B
			熊本市内の宿泊客数	①	168	290	418	万人	A	A
		安全で安心できるまちなかへの居住促進	中心市街地内の居住人口	②	37,682	37,700	39,813	人	A	A
大分県	大分市	伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化	空き店舗率	③	9	5	8	%	B	B
		魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量	①	259,541	291,000	317,939	人/土日計	A	A
		まちなか居住の推進	中心市街地の居住人口	②	21,048	22,800	21,323	人/年	B	A

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	基準値	目標値	最新値	単位	実績	目標達成の見通し
令和6年3月26日認定 【計画期間:令和6年4月～令和11年3月】										
山形県	小国町	まちに暮らす	定住人口	②	3,637	3,300	2,977	人	c	C
		まちを動かす	起業者数	③	2	18	2	人	B	B
		まちを回遊する	歩行者・自転車通行量	①	1,072	1,200	857	人/日	C	C
沖縄県	宮古島市	まちなか拠点の機能強化とみなとまち整備による賑わいの創出	都市福利施設・観光交流施設等の利用者数	①	77,413	74,058	58,742	人	C	A
		交通アクセスの向上と回遊性の高い空間整備による来街・滞在の促進	中心市街地の来街者数（バス停利用者数）	④	5,214	6,537	9,906	人	A	A
		都市機能の充実と住環境の整備によるまちなか定住の魅力向上	中心市街地の居住人口	②	2,674	2,632	2,492	人	c	c
岐阜県	高山市	居住人口の維持	中心市街地への転入・転居者数	②	353	284	479	人	A	A
		来街者数の増加	歩行者通行量	①	10,192	11,958	13,764	人	A	A
		営業店舗数の増加	中心商店街営業店舗数	③	350	353	370	店舗	A	A
福島県	白河市	まちなか居住の促進	市全域に対する中心市街地の居住人口の割合	②	4	4	4	%	C	A
		魅力ある商店街の形成	小売業及び一般飲食店事業所数	③	161	165	154	事業所	C	A
		誰もが集い楽しく回遊で きるまちづくり	平日歩行者通行量	①	2,094	4,541	2,954	人/日	B	A
茨城県	土浦市	休日のにぎわい創出	休日の歩行者・自転車交通量	①	21,166	26,270	19,414	人	C	B
		交流人口の増加	観光関連施設利用者数	①	107,835	170,101	174,156	人/年	A	A
		商業・業務機能の活性化	新規出店・起業数	③	15	75	10	店舗/年	C	A
		まちなか居住人口の増加	中心市街地居住者人口割合	②	5	6	6	%	B	A
沖縄県	沖縄市	拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出	歩行者通行量（休日）	①	918,192	1,653,300	1,281,542	人/年	B	A
		拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出	観光関連施設入込客数	①	5,486	6,864	5,532	人/日	B	A
		安全・安心・快適に過ごせる環境整備	都市福利施設の年間利用者数	①	555,594	1,100,408	991,838	人/年	B	A
青森県	八戸市	ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出	AI カメラ地点通過者数	①	36,351	36,874	37,695	人	A	A
		ウォーカブルな空間づくりの推進と賑わい創出	公共施設来館者数	①	1,014,194	1,572,900	1,548,523	人	B	A
		魅力ある商店街の再生	空き店舗・空き地率	③	17	16	14	%	A	A
		暮らしやすさの向上	まちなか居住者増加数（社会増減数）	②	26	105	△ 71	人	C	A
		宿泊滞在の推進	ホテル宿泊者数	①	486,563	522,957	371,435	人	C	A

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	基準値	目標値	最新値	単位	実績	目標達成の見通し
令和7年3月14日認定 【計画期間:令和7年4月～令和12年3月】										
神奈川県	秦野市	交流人口の拡大	交流創出事業数	①	34	109	61	回/年	B	A
		歩道及び滞在空間の快適性の向上	通行者・滞在者数（平日）	①	65	108	85	人	B	A
		歩道及び滞在空間の快適性の向上	通行者・滞在者数（休日）	①	56	98	74	人	B	A
		歩道及び滞在空間の快適性の向上	滞在者のアクティビティ数	①	6	11	9	件	B	A
		生活利便性の向上	中心市街地営業店舗数	③	150	154	161	店舗	A	A
		生活利便性の向上	居住満足度	②	85	88	88	%	A	A
千葉県	木更津市	休日のにぎわい創出	休日の歩行者通行量	①	14,856	18,382	18,647	人	A	A
		街なか居住人口の増加	中心市街地内の人口の社会増減数	②	56	72	△ 62	人/年	C	A
		商業施設の活性化	中心市街地内の新規出店数	③	5	5	5	件/年	A	A
三重県	伊賀市	仕事と暮らしが調和した多世代が暮らしやすい生活環境の整った城下町	中心市街地における居住人口の社会増減数	②	△ 52	50	△ 181	人	c	C
		地域資源がつながる歩いて楽しい立ち寄りたくなる城下町	中心市街地の歩行者等通行量	①	5,795	7,800	6,856	人/日	B	A
		地域資源がつながる歩いて楽しい立ち寄りたくなる城下町	空き店舗等を活用した新規出店数	③	25	35	6	件	B	A
		歴史文化が育んだ「伊賀らしさ」を次世代に継承し持続可能な魅力あふれる城下町	伊賀の歴史的資源等を活かした施設の利用者数	①	364,395	693,000	255,238	人/年	c	A

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	分野	基準値	目標値	最新値	単位	実績	目標達成の見通し
令和7年3月14日認定 【計画期間:令和7年4月～令和12年3月】										
大阪府	茨木市	歩いて楽しい徒歩圏の実現	平日昼間の歩行者通行量	①	35,005	40,828	30,364	人/日	C	B
		魅力的な都市空間の整備・誘導	計画記載事業を活用した新規出店数	③	12	16	24	店舗/年	A	A
		多様な主体が使いこなせるまちなかの実現	公共空間活用件数	①	99	153	264	件/年	A	A
山口県	宇部市	まちなかのにぎわい創出	歩行者通行量	①	2,849	6,000	2,721	人	C	A
		経済活力の維持向上	店舗増加数	③	9	15	20	%	A	A
		まちなか居住の推進	人口の社会増減数	②	△ 98	50	△ 50	人	C	A
山形県	鶴岡市	まちなかの賑わい創出	新規出店・立地数	③	10	11	11	店舗/年	A	A
		まちなかの賑わい創出	自転車歩行者通行量	①	2,853	3,099	1,820	人/日	C	A
		まちなかの観光振興	主要観光施設の入込客数	①	127,500	156,300	139,700	人/年	B	A
		まちなかの居住推進	転入者数	②	345	365	362	人/年	B	A
		まちなかの居住推進	新築戸数	②	14	24	22	戸/年	B	A
鳥取県	倉吉市	積極的に住みたくなる暮らしの賑わい再生を目指すまち	中心市街地全体の人口の社会増減	②	△ 25	90	△ 29	人	C	B
		歴史的資源とアートを活かし観光機能の向上を目指すまち	中心市街地における観光入込客数	①	866,300	1,280,000	1,186,708	人	B	A
		多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち	中心市街地における創業事業者数	③	11	15	11	件/年	B	B
宮城県	石巻市	訪れたいと思う目的地の増加	新規出店数	③	0	30	10	店舗	B	A
		誰にとっても居場所があり交流できる機会の増進	市民交流8施設の利用者数	①	306,154	373,000	351,967	人	B	A
		中心市街地の回遊性の向上	歩行者・自転車通行量（18地点）	①	23,837	27,000	26,013	人	B	A
群馬県	高崎市	来訪者でにぎわう集客拠点ゾーンの形成	都市集約施設の利用者数の合計値	①	1,285,839	1,474,000	1,348,454	人/年	B	B
		市民や来訪者が楽しく回遊できる中心市街地の形成	歩行者・自転車通行量	①	43,631	44,400	35,846	人/年	C	B
		快適・便利なまちなか居住が享受できる中心市街地の形成	区域内居住人口	②	28,264	29,800	28,353	人	B	B
新潟県	長岡市	「起業する人」を増やす	中心市街地内の起業数	③	29	36	7	件/5年	B	A
		「集う人」を増やす	中心市街地内の居住人口	②	5,567	5,585	5,466	人	C	A
		「集う人」を増やす	中心市街地内の公共施設利用者数	①	143	196	171	万人/年	B	A
		「歩く人」を増やす	大手通交差点より西側の歩行者・自転車通行量	①	17,854	18,820	18,731	人/日	B	A
兵庫県	姫路市	にぎわいと感動にあふれる中心市街地の確立	歩行者通行量	①	85,542	91,000	82,189	人/日	C	A
		魅力ある商業地としての中心市街地の形成	新規出店店舗数	③	30	31	27	店舗	C	A
		多様な人を包摂する市民の暮らし・生活の場の充実	居住者数	②	11,099	11,100	11,796	人	A	A
島根県	松江市	既存ストックの活用などによる活気の創出	遊休不動産の事業化件数	③	63	75	9	件	C	A
		水辺空間の活用などによる街なかの賑わいづくり	水辺の公共空間の活用日数	①	1,475	1,972	366	日	B	A
		歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大	中心市街地内の外国人宿泊客数	①	42	80	57	千人	B	A
		歴史・文化資源を活かした観光振興・交流の拡大	中心市街地内の宿泊客数	①	1,386	1,600	1,199	千人	C	B
香川県	高松市	みんなが訪れたくなる中心市街地	中心市街地内の宿泊者数	①	880	961	970	千人/年	A	A
		みんなが巡ってみたくなる中心市街地	歩行者等通行量	①	122,935	125,739	113,403	人/日	C	C
		みんなが住みたくなる中心市街地	中心市街地の社会動態	②	960	1,004	141	人	C	A
		これからも持続的に成長する中心市街地	データ連携基盤を活用した事業数	⑤	5	10	6	件	B	A